Book Review

GP のためのマイクロスコープを応用した
ウルトラソニック インスツルメンテーション

阿部　修・大野純一・景山正登　著

A4 判変，82 頁
オールカラー
定価（本体 6,000 円+税）
医歯薬出版刊

Reviewer
笠島生也　Naruya Kasajima
（東京都・笠島歯科室）

気鋭の先生方の共著である．斬新な書影と「GP のための〜」という書籍タイトルに惹かれた．

そして，「マイクロスコープとウルトラソニック インスツルメンテーションを使わないと，現代臨床は成り立ちません！」という厳しいくだりがあるはずだと，緊張しながらページをめくった．

本書は Chapter 1〜7 で執筆されているが，4 つに整理してみた．

1. 序文

著述の趣旨が厳選された言葉で書かれている．本書は，GP の歯周療法の質向上のために上梓されている．歯周基本治療にはインスツルメンテーションが必要であり，そこで，マイクロスコープとウルトラソニック インスツルメンテーションが登場する．「見えない」という不確実な情報を，「見える」という確実な情報に「変化」させ，双方を有効活用してみませんかと提案している．

2. インスツルメンテーション

インスツルメンテーションとは，「器具操作」のことである．ここでは，スウェーデン認定歯周病専門医である大野氏が，メインテナンスにおけるインスツルメンテーションに焦点をあてて書いており，歯肉縁上と歯肉縁下，メインテナンスのインスツルメンテーションに対する論文を，わかりやすく解説している．また，臨床と研究の隔たりについても話が及ぶ．大野氏自身の臨床に照らしながら，マイクロスコープとウルトラソニック インスツルメンテーションについて考察している．歯に衣着せぬ名言が多くあり，思わず「いいぞ！」と唸り，アンダーラインを引いた．「マイクロスコープを使っても目視には限界がある」は圧巻だった．

3. マイクロスコープとウルトラソニック インスツルメンテーション

GP ではあるが，歯内療法の分野で講演や執筆をされている阿部氏のパート．マイクロスコープを使うということは，「単に明るいライトで拡大するという，きわめてシンプルなことである」から始まる．マイクロスコープの使用を自身のインスツルメンテーションの質の検証に使用すること，患者への説明ツールとして応用することまで書いている．マイクロスコープの導入方法のアドバイスにも触れている．Cavitron の紹介とそれらを使ったポジショニングの部位別の解説，便利ツールまで，すべて写真入りで書かれてある．元パイロットである阿部氏の言う，ヒューマンエラー，訓練と努力という言葉には重みを感じた．

4. 臨床応用例

マイクロ歴 17 年，歯周病専門医・指導医である景山氏は，まず「精度の高い器材を使用するにつれ，歯周治療における歯周基本治療の重要性を再認識している」と書いている．その後，マイクロスコープとウルトラソニック インスツルメンテーションを使った 6 症例の写真，プロービング値，X 線写真，CT 写真，他データを提示し，細かく解説し，洞察を加えている．氏の臨床の精密さに驚愕した．また，見やすい資料は読者を納得させる．特に最後のケースは，初診の状態，治療計画，治療経過，SPT の状況までを詳細に記しており，歯周治療を診療室の軸としている読者には必見である．

景山氏の最後の言葉が素晴らしい．「マイクロスコープやウルトラソニック インスツルメンテーションの使用において，自身を戒めなければならない．一つには拡大により何でも見えると錯覚すること，一つにはインスツルメンテーションによって，根面が傷つかないと誤解することである．そのうえで，双方の活用の幅を広げるため，日々研鑽を積みながら臨床に取り組んでいきたい．」

サービス精神旺盛で，ズバッと本音で書かれた良書に感謝したい．